



城

土(つち)の部・9画

左右型 / 一(よこ)

くん しろ あだのぶなが 織田信長は、琵琶湖びわこのほとりの安土山あつちやまに城しろをきずいた。
祖父そふの趣味しゆみは、日本にほん中の城跡しろあとをめぐることだ。

おん ジョウ このまち この町は、かつて城下町しろあたまちとして栄さかえた。
京都きょうとで二条城にじょうじょうを見学けんがくした。

いみ しろ・とりて ● 城跡(城跡)・根城・山城・城郭・城閣・城下町・城
市・城主・城内・城門・古城・築城・登城・落城

● 特別な読み…(都道府県) 茨城・宮城

なりたち



地面じめんからめがめが出た形かたちで、
土つちのこと。



おのの形かたちと、うつわか
らしるがあふれる形かたちで、
できあがること。

城

土つちを一段一段いちぢんいちぢんつきかためて、高たかく
積みあげ、できあがったおしろの
かべのことから「しろ・とりて」
の意味いみになった。

となえかた

城

土つちへんに
(よこ たて
もちあげ)

城

ノ

城

よこ

城

かぎはね

城

たすきにてん



きを つけよう 城にと似ている字…域